令和 5 年度 授業評価アンケートに基づく自己点検・評価

健康・医療データサイエンス教育プログラム（文科省認定　リテラシーレベル）

1. 評価方法

令和 5 年度に実施した構成科目ごとの授業評価アンケートを用い、学生の満足度、授業のわかりやすさ、理解度などを確認した。アンケートは科目単位で実施した。

2. アンケート結果

学科	科目	回答件数	満足度	わかりやすさ	理解度
医療ビジネス薬科学科	数学・統計学の基礎	49	4.14	3.92	3.53
	情報リテラシー	41	4.37	4.34	3.85
	データサイエンス入門	16	2.69	2.38	2.75
薬学科	薬学数学	74	4.34	4.61	3.88
	情報リテラシー	37	4.41	4.14	3.86
	データサイエンス概論	4	4.50	4.25	4.50

注：数値は 5 段階評価の平均値。回答件数は科目別の延べ件数（合計 221 件）であった。



3. 評価と課題

- 6 科目中 5 科目の満足度は 4.14〜4.50 であり、多くの科目で肯定的な評価が得られた。ただし、「データサイエンス概論」は回答 4 件のため、解釈には留意が必要である。
- 「データサイエンス入門」は満足度 2.69、わかりやすさ 2.38、理解度 2.75 と改善が求められると考えられる評価であった。自由記述でもプログラミングや課題の難しさ、説明の改善を求める意見がみられた。
- 「数学・統計学の基礎」では理解度が 3.53 であり、一部の科目では授業の進度について改善を求める意見もあった。

4. 翌年度に向けた見直し方針

令和 6 年度に向けて、データサイエンス系科目を中心に授業内容・難易度や説明方法を見直す。また、数学・情報に関する科目についても学生の理解度や授業の進度に配慮する。